

# TAGAJO たがじょう

## 市議会だより

No. 110

令和2年(2020年)  
2月1日発行

発行/多賀城市議会 編集/広報特別委員会  
〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1  
[ 電話 022-368-1141 FAX 022-368-1397 ]



▲令和2年陸奥総社宮 初詣

## 第4回定例会

総括質疑

一般質問

あんなことこんなこと議論の足跡

常任委員会行政視察報告

総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会  
建設水道常任委員会

# 平成31年度 各会計補正予算可決

12月9日から12月20日まで、12日間の会期で第4回定例会を開催しました。  
今定例会では、条例10件、補正予算4件、その他3件の審議を行いました。

## 補正予算の主なもの

### 10億5031万1千円を増額しました。

- ◎3.11追悼式を実施
- ◎さんみらい多賀城イベントプラザ開設にあたって、経費および備品などの購入並びに開所式を実施
- ◎七ヶ浜町公園墓地蓮沼苑50区画を新たに取得
- ◎台風19号において雨漏り被害が生じた市内小中学校の施設修繕
- ◎文化センターの照明設備や総合体育館の空調設備などの改修

## 意見書

市議会が国へ意見書を提出しました。

### 「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣

## 請願・陳情

### 《請願》

- ◆ 政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願書  
→上記のとおり意見書を提出しました。
- ◆ 多賀城市社会福祉協議会における訪問介護事業の継続に関する請願  
→本会議において賛成9名反対8名で採択されました。

### 《陳情》

- ◆ 学校教材の計画的な整備推進についてのお願い
- ◆ 会計年度任用職員制度ならびに職員の労働条件に係る陳情書の提出について
- ◆ ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請
- ◆ 令和2年度税制改正に関する陳情書

# ●第4回定例会結果

案件などの番号	市長が提出した議案一覧
1	専決処分の承認を求めることについて(平成31年度多賀城市一般会計補正予算(第4号))
	令和元年台風第19号の対応に伴い、災害見舞金や人件費などの増額補正を行いました。
2	多賀城市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
	本市の下水道事業に地方公営企業法の全部を適用し、上水道部と建設部下水道課の組織統合を行うため、所要の改正を行いました。
3	多賀城市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
	多賀城市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴い、関係条例12件について所要の改正を行いました。
4	さんみらい多賀城イベントプラザ条例について
	令和2年に八幡字一本柳地区に開館する「さんみらい多賀城イベントプラザ」の設置および管理に関する条例を制定しました。
5	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
	令和元年人事院勧告に準拠し、本市の一般職の職員および任期付職員の給料月額、期末勤勉手当支給割合の改定を行い、並びに、住居手当の算出方法について改正を行いました。
6	多賀城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、会計年度任用職員制度が創設されることから、その給与などについて条例を制定しました。
7	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例11件について所要の改正を行いました。
8	多賀城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する厚生労働省令の施行に伴い、家庭的保育事業者などに係る連携施設の確保義務の免除などの改正を行いました。
9	多賀城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、特定地域型保育事業者の代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和などの改正を行いました。
10	多賀城市保育所条例の一部を改正する条例について
	多賀城市鶴ヶ谷保育所を令和2年4月から民営化するにあたり、所要の改正を行いました。
11	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、災害弔慰金の支給に係る支給審査委員会の設置などについて改正を行いました。
12	七ヶ浜町の公の施設の利用に関する協議について
	七ヶ浜町公園墓地蓮沼苑の50区画を新たに使用できるようになりました。
13	指定管理者の指定について
	多賀城市立図書館の指定管理期間が平成31年度末をもって満了することに伴い、令和2年度から令和6年度までの指定管理者として、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社を指定しました。
14	平成31年度多賀城市一般会計補正予算(第5号)
15	平成31年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
16	平成31年度多賀城市水道事業会計補正予算(第2号)
17	平成31年度多賀城市一般会計補正予算(第6号)

## 表決一覧(各議員が出した結論)

案件などの番号	自由民主党					日本共産党				公明党			無		多	市	新	伏谷 修一	審議結果
	佐藤 雅博	鈴木 新津男	米澤 まき子	森 長一郎	吉田 瑞生	遠藤 秋雄	中田 定行	佐藤 恵子	戸津川 晴美	阿部 正幸	齋藤 裕子	根本 朝栄	江口 正夫	雨森 修一	板橋 恵一	昌浦 泰巳	竹谷 英昭		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
2~12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
13	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○		原案可決
14	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
15~17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は× ※議長は公正中立の立場から表決に加わりません

党派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団

公明党=公明党多賀城市議団 無=無所属の会 多=多賀城市民の会 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ ※伏谷議長は公正を期するため無党派になります。

# 総括質疑

委員会付託議案について、会派の代表が総括的に質疑を行いました。

※令和元年12月定例会から、本会議に会派の代表による「総括質疑」を導入しました。

## 自由民主党多賀城市議団

森 長一郎

多賀城市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

水道事業の公営企業化と同時に、水道部との組織をも統合する長所と短所を伺います。

質

長所は人的資産の有効活用、組織のスリム化、会計事務の継承、費用削減と事務の効率化が図られることで、短所は公営企業には雨水事業はなじまない課題があるところ。公営企業管理者の下に単独部長を置く理由を伺います。

質

マネジメント体制を強化し、人材育成の体制を整えるためです。

さんみらい多賀城イベントプラザ条例について

質

施設を市内外に広く周知する方策と、施設の名称を公募しなかった理由を伺います。広報誌、ホームページなどで積極的に広報活動を行います。標識、看板、各種マップへの影響を考慮し公募は行いませんでした。

質

指定管理者の指定について

質

新市立図書館のコンセプトは、「誰もががきたくなる、知の広場」です。

質

休日などの図書館会館前の行列をどう思っていますか。

質

魅力的な施設が故にと思いますが、より多くの人に利用していただけるよう指定管理者と協議します。

## 日本共産党多賀城市議団

中田 定行

多賀城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について

公務を担うのは「正規職員中心の公務運営」が原則だと考えますが。

質

おっしゃる通りです。

質

「本市では現時点においてフルタイムの任用は想定していません」としていますが、フルタイムを原則とすべきではないですか。限定的な任用としてパートタイム採用とされています。

質

均等待遇の観点から、再度任用の上限は設けないようにすべきではないですか。固定化することがないための措置であり、今後他市町村の状況を確認しながら適切に対応してまいります。

質

指定管理者の指定について

質

図書館の指定管理者の指定について公募とすべきではないですか。CCCへの継続委託が有利であると考えています。

## 公明党多賀城市議団

根本 朝栄

多賀城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

質

これまで各区へ支給してきた交付金と報酬などの総額と令和2年度の自治振興交付金とは大きな差額が出ているが町内運営に支障はないですか。

質

町内会運営は町内会会費収入がほとんどであり、制度変更による町内運営に大きく支障をきたすことはないと考えます。

質

町内会制度が変わると市の関与が大きく異なることから、これまで同様に寄り添った支援をしていただきたい。

質

これまで以上に町内会活動に関する取り組みを強化してまいります。

七ヶ浜町の公の施設の利用に関する協議について、平成31年度多賀城市一般会計補正予算(第5号)

質

50区画の墓地の増設を図る予算措置は評価するが、将来の本市の墓地需要をどのように考えていますか。

質

市内には墓地を造成する適地がなくこれまで同様、七ヶ浜町から譲り受けて市民に譲渡する方法が最善と考えます。

質

お骨がない方への一般募集の予定はどうですか。20区画を一般募集に割り当て年度内に募集を行う予定です。

質



無所属の会  
江口 正夫

- ① 台風19号被害の課題と対応について
- ② 学校教育の情報化について

**問1**

① 県の砂押川水系整備計画の促進と整備優先の見直しを。② 避難準備の判断の容易性から、砂押川上流域に水位計の設置を。③ 八幡六貫田・庚田から上一・二区の地域の内水氾濫軽減策は。④ 災害見舞金支給対象を賃貸住宅所有者にも拡大を。⑤ 自治体独自の住宅支援制度の設置を県に要望しては。

**答**

① 河道の整備や勿来川遊水地の掘削に優先的に取り組むよう県に働きかけます。② 水位計は遊水地にあります。③ 八幡地域における雨水幹線整備は、東日本大震災以降、順調に進んでおりますが一部未整備の部分もありますので、今後順次取り組んでまいります。④ 災害見舞金の支給目的は事業者の援護ですので支給対象外となることをご理解願います。⑤ 支給対象者の拡大や財政措置など国に働きかけます。

**問2**

令和2年度から、小中学校で、情報システムを活用した情報化（ICT）教育が始まります。① 情報化教育の準備と今後の進め方は。② 教員の情報化教育の指導力の養成、教材の整備は。③ 情報化教育整備費の財源確保のために、国に積極的な働きかけを。

**答**

① 国および県の整備計画に準じてパーソナルコンピュータなどを導入してまいります。② 既に各学校において情報担当教員を1名ずつ選任しており、デジタル教材などの整備も進めております。③ 国に要望します。



公明党  
阿部 正幸

- ① 官民協働事業の促進について
- ② ICT技術の活用について

**問1**

官民協働事業により行政の財政負担を伴わずに作成しているものもありますが、全庁的に促進し、例えば「子育てハンドブック」などの情報誌も作成してはいかがでしょうか。

**答**

「子育て親育ちサポートブックはぐはぐ」は官民協働事業により作成しておりますが、「子育て支援」という同一分野における広告にご協賛いただければ、新たな分野に着手する場合には、官民協働事業に積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

**問2**

人口減少社会に向けた業務効率化に対応するため、ICT活用に向けた取り組みを行うべきだと思っておりますが、いかがでしょうか。総務省では公共施設における公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備を推進しています。市庁舎および文化センターにも整備してはいかがでしょうか。

**答**

今後建設予定の本市の新庁舎には、「市民交流室」などの市民の皆さんが自由に活用できる施設などは設けない計画ですので、来庁者の公衆無線LANの整備は現在予定しておりません。文化センターへの公衆無線LANの整備については、必要性、有効性、費用対効果などを考慮しながら研究してまいりたいと思っております。

今後、新たな分野に着手する場合には、官民協働事業に積極的に取り組んでまいりたいと思っております。



▲官民協働事業により作成している情報誌

# 一般質問



日本共産党  
戸津川 晴美

- ① 教育現場の働き方について
- ② 高齢者を買う物・通院難民にしないために

## 問1

① 小・中学校職員は今、1日に12時間ほどの勤務となっているが、この現状に対する教育長の所見は。②業務の削減やタイムカード導入の現状は。③病休者と代替職員の配置については。④教員の増員については。⑤変形労働時間制の導入についてどう考えますか。

## 答

①多忙化が進展しており、大きな問題と認識しています。②地域懇談会などを削減した学校があります。令和2年度中にタイムカードなどを導入する予定です。③現在2校で3名の不足です。④国県に要望します。⑤業務量が減るわけではないので、働き方改善策となり得るか研さんを積んでまいります。

## 問2

①自動車免許自主返納者に対する優遇策を具体的に。②バス料金の半額化を市長選挙の公約としていたが、いつから実施しますか。③安全運転サポート車の購入補助や、後付け安全装置設置への補助



▲市民プール前 バス停

を求めますがいかがですか。④「市民プール前」停留所の時刻改善を早急に行うべきと考えるかがいますか。

## 答

①来年度よりバス料金を1年間に限り無料とする方向で協議しています。②公約である7歳以上の高齢者に対する運賃の半額化は引き続き検討します。③国の動向を見守ります。④利用者数が増えているので、現在の運行を継続してまいります。



公明党  
齋藤 裕子

- ① 保育施設の充実
- ② 乳幼児用液体ミルクの備蓄
- ③ 土のうステーションの増設
- ④ 高齢者の交通安全対策

## 問1

保育所の業務負担軽減に人工知能AIを導入してはいいかですか。

## 答

本市では、全庁的にICTによる業務負担の軽減について検討を開始しており、令和2年度から実証実験に取り組むこととしております。

## 問2

災害時に調乳作業が不要の乳幼児用液体ミルクを備蓄品として導入してはいいかですか。

## 答

乳幼児用液体ミルクの備蓄については、賞味期限が6カ月から1年間と短いことから、現在のところは備蓄を行っておりません。

## 問3

台風19号を踏まえ、浸水被害の軽減を図るために、土のうステーションの増設と周知は必要ではないですか。

## 答

来春オープンの中幡字一本柳地区の防災備蓄倉庫に土のうをストックし、そこから市内3

カ所の土のうステーションに運ぶことも考えており、市ホームページのほか、全戸配布した防災マップでも周知しております。

## 問4

①運転免許証返納者へ1年間のバス無料乗車証の早期発効を求めますがいかがですか。

②高齢者の事故を抑止する後付け安全運転支援装置の購入への補助制度を創設してはどうですか。

## 答

①バス事業者、他の公共交通事業者、七ヶ浜町と協議を進めます。②国の動向を見守ります。





無所属の会  
**雨森 修一**

雨水流出抑制施設  
設置助成金事業について

一般質問

**問**

「水害のないまちづくりを」市民の皆さんに水害被害を軽減するための策として、家庭敷地内に「雨水貯留タンク」や「雨水浸透ます」を設置することにより、集中豪雨により浸水被害を最小限にするための雨水流出抑制施設設置助成金事業があります。集中豪雨により多賀城市内の各地で浸水被害が多発しております。助成金の見直しなど事業の促進をより一層図る事が不可欠と考えますが、市長の考えを伺います。

**答**

本市では「多賀城市総合治水計画」として、浸水被害を最小限にするための総合的な取り組み指針を策定し、具体的な実施方針の一つに、雨が降ったその場で貯留する「オンサイト貯留施設」として、市民および事業者などによる雨水貯留施設という考えを盛り込んでいます。当初の規格は貯留タンク250リットル以上でし



雨水流出抑制のチラシ

たが、平成30年度からは120リットル以上に基準を緩和しています。助成率は3分の2で、助成額の上限を4万円としており、助成内容については十分と考えていることから、事業の見直しは現在のごころ考えておりません。しかし、雨水貯留が総合的な治水対策として大切な視点であることは十分に認識しておりますので、今後も普及拡大にしっかりと取り組んでまいります。

**問1**

将来の施策立案の一助となるシステムと市の防災組織を質問。①地域経済分析システムリーサス(RESAS)を市は活用していますか。②各地域が自らの強み弱みや課題を分析し、その解決策を検討することを後押しし、地方公共団体におけるデータに基づく施策立案をさらに促進することを目的として、地域経済分析システムはあります。今後、市では積極的に活用していきますか。

**答**

①「交流人口・観光・産業」の分野メニューを中心に、イベント開催時の回遊状況の確認、ごこの地域からの訪問者が多いかの確認、統計データによる市内企業構造などの確認などに活用しております。②特に地方創生と関係が深い「関係人口・観光・産業」の分野を中心に、多賀城の現状と課題をより深く緻密に把握し、その特性に即した地域課題を抽出して政策立案していく考

**問2**

台風19号で本市の防災のさらなる強化を実感しました。本市に危機管理監任命と市防災部の設置が必要だと思います。市長の考えを伺います。

**答**

危機管理において有益な方策の一つと認識していますが、組織としてその機能を最も効果的に発揮させるために、現行の体制を革新する必要があるかどうかを含め検討します。



市民クラブ  
**昌浦 泰己**

① 地域経済分析システムの活用について  
② 危機管理監の任命と市防災部設置について

# 一般質問



自由民主党

吉田 瑞生

台風19号豪雨被害の検証と、砂押川・勿来川の建設整備推進、南宮排水区事業など、総合的な雨水対策事業を

一般質問

## 問

これまでの雨水対策の効果や課題の検証を。①砂押川水系河川改修事業の中で最も重要な役割を担う、砂押川および勿来川遊水地の建設整備事業に取り組み、早期の完成と完備を図るよう、宮城県に要望されたい。②七北川の治水安全度強化に向けた河川改修事業を継続延長する取り組みを、宮城県に要望されたい。③砂押川の勿来川合流周辺の河川を拡幅し、バックウォーター現象の防御と、第二揚水機場から遊水地管理橋間に護岸築造を、宮城県に要望されたい。④原谷地川右岸堤防のかさ上げ築造を。⑤南宮排水区を国の事業認可取得と整備を。

## 答

①砂押川遊水地は完成していませんが、勿来川遊水地は一部未整備となっていますので、県に対して優先順位を上げて取り組むよう要望します。②既に国土強靱化事業の一環として、令和2年



度までの期間において堤防整備や堆積土砂のしゅんせつ、支障木の撤去などに集中的に取り組む旨の報告を県から受けております。③砂押川と勿来川の合流地点においては流下能力を確保するための河道確保工事が非常に重要と認識しています。④⑤南宮排水区における雨水整備、いわゆる西部地域の雨水対策や原谷地川からの越流防止については、県や周辺市町との連携を図りながら総合的な検討を行い結論を出します。



日本共産党

遠藤 秋雄

①台風19号被害原因と対策について  
②訪問介護の充実について

## 問1

33年前の「8.5水害」の教訓を生かして、その後、雨水幹線排水路そしてポンプ場の整備が進み、大きく減災することができています。しかし今回、山王や八幡上地区に被害が集中しています。その原因と対策を伺います。

## 答

河川の増水などにより「バックウォーター」現象や内水氾濫が発生したため、西部地域や八幡地区に浸水被害をもたらしたものと考えておりますが、まだ明確な原因究明には至っておりませんので、検証を踏まえた上で対策を検討してまいります。

## 問2

第五次総合計画の後期が進んでいます。保健福祉分野のキーワードは「住み慣れた地域で自分らしく暮らせる」です。しかし今、訪問介護の事業所閉鎖により、行き場を失う利用者の方がいます。必要な介護サービスを必要な時に利用できることが願いです。そして、ヘル

## 答

パーの人材不足も深刻です。現在、訪問介護事業を展開している事業所は、市内に19事業所、隣接する塩釜市に19事業所、七ヶ浜町に3事業所、利府町に2事業所、仙台市宮城野区に47事業所となっております。利用していた事業者が廃業した場合は、ケアマネージャーなどと連絡調整を行い、利用者が継続して他の事業所からサービス提供を受けられるようにしております。



▲2019.10.13 台風19号水害





日本共産党  
佐藤 恵子

- ① 地域商業の活性化、支援事業について  
② 年末年始の金融対策について

一般質問

### 問1

① 空き店舗などを活用した新規出店を支援する商業機能集積補助金事業(来年度終了)について、令和3年度以降は補助内容を見直しし、補助対象地域の拡大や対象経費を拡充するなど新たな支援事業として立ち上げ、進めてください。② 市内の小売り、飲食業などの店舗リニューアル費用への市の助成制度を作ってください。

### 答

① 商業機能集積補助事業のこれまでの実績などを検証し、その結果を踏まえ、本市の実情に合った施策について、検討してまいります。② 現在、店舗などヘリフォームの支援は考えていませんが、気仙沼市や他の自治体の制度について調査、研究していきます。

### 問2

消費税増税などで景気指標が悪化しています。資金需要が高まるなかで借り換えも含めた低利の緊急融資が必要です。資金繰りのための相談窓口設置など

体制の強化のために特別の対策を講じてください。

### 答

中小企業などの資金繰りについて、市が出席した金融懇談会でスムーズな融資を金融機関に要請しています。今後も事業者が相談しやすい体制づくりのために関係機関と連携を図ってまいります。



### 問

区長制度廃止に伴う今後の住民自治振興策について4点を伺います。① 約60年の歴史を有する区長制度について市長の総括は。② 約1年間を費やし、区長と話し合いを行った結果として対応案が示されているが、区長や町内会役員の反応はいかがだったのか、十分な理解は得られたのか。③ 市町村によっては区長を有償ボランティアに位置付け謝金を支払う例があるが、検討はしたのか。④ 地域運営組織を目指す説明があったが、この組織にどのような期待を持っているのか。またどのようなスケジュールで取り組むのか。

### 答

① 歴史のある制度であり、住民と行政を繋ぐパイプ役として市勢の発展に多大な貢献をいただき、深く感謝をしております。② 区長とは20回ほどの議論を重ね現在の対応案に集約されており、一定の理解を頂いたと受け止

めております。③ 有償ボランティアについては本市でも検討しましたが、区長ごとに活動内容には大きな差異があり、一律に謝金を出すのはなじまないことから適切でない判断いたしました。④ 総力を挙げ、総参加による課題解決行動のためには町内会に加えて各種団体、NPO、企業、学校、行政などが関わることができると有効な仕組みであると考えており、新制度の動向を勘案しながら時機を見て取り組みます。



自由民主党  
鈴木 新津男

区長制度廃止について





日本共産党  
中田 定行

抜本的な治水対策の実施を

一般質問

**問**

①七北田川の河川整備について、維持管理程度の補修ではなく、本格的な河川整備を県に対して要求すべきと考えるがどうか。②砂押川の河川整備について、勿来川遊水地整備を一刻も早く実施するよう県に対して要求すべきと考えるがどうか。③安楽寺雨水幹線の整備について、一刻も早く事業認可を得て整備に着手すべきと考えるがどうか。④大雨時に浸水する区域にあり、避難ができない指定避難所は見直すべきと考えるがどうか。

**答**

①災害に備えた非常に重要なものであると認識しておりますので、河川整備を早急に実施するよう、県に対し要望してまいります。②現在未整備となっており、河川の整備や勿来川遊水地の掘削について、最優先に取り組みよう、県に対し強く要望してまいります。③整備には、巨額の公共投資

が必要となることから、投資に対する効果や雨水全体計画における整備優先順位などについて、総合的な検討や調整が必要であると認識しております。④台風第19号の浸水被害は、過去の災害と比較して異なった地域の浸水がみられました。原因などについて、現在検証中ですので、その結果に応じて指定避難所や指定緊急避難場所を含めて検討していきたいと考えております。



議会の傍聴にぜひお越しく下さい。

次回の定例会は  
2月10日(月)から  
3月13日(金)の予定です。



- ◆ 正式な日程は、決まり次第、広報多賀城・市ホームページでお知らせします。
- ◆ 定例会本会議、予算・決算特別委員会はインターネットでもご覧いただけます。

携帯・スマートフォンからのアクセスはこちら▶



**文化の日表彰(地方自治功労)**  
雨森修一議員

11月8日に開催された宮城県文化の日表彰式典において、雨森修一議員が地方自治功労の表彰を受けました。

この表彰は、多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力された功績に対し贈られるものです。

# あんなことこんなこと

## 議論の足跡

あしあと

質  
…  
質問

答  
…  
回答

市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第4回定例会では、予算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑が行われました。

### ◆予算特別委員会◆

#### 稲わらの整備に係る予算

**質** 稲わらの整備に係る予算は、国が全面的に対応することのことで、本市の負担はどのくらいですか。

**答** 緊急的対応として、まず予備費から2034万円、専決処分として1億4234万円を充てました。財源の枠組みとしては、国庫補助対策経費から50%、特別交付税として47.5%が補助され、市の負担は実質2.5%です。

#### さんみらい多賀城

**質** イベントプラザへの高齢者の移動手段の交通確保はどのように考えていますか。

**答** 最寄りのJR中野栄駅をご利用いただきたいと考えております。

**質** 開所式には、防災グッズの展示などの内容は、どのように考えていますか。

**答** 具体的なことはこれからですが、企業や東北大学災害科学国際研究所などのアドバイスを頂き考えているところです。

**質** 備蓄品は、最新情報を踏まえ、簡易トイレ、液体ミルク、土の

う活用など、自助共助を促し、防災拠点としての周知につなげる企画の考えはありますか。

**答** これから、各種企業などと連携し、防災・減災に対する意識を高めるような企画を検討してまいりたいと思います。



▲完成間近のさんみらい多賀城イベントプラザ

#### 広報たがじょうの発行

**質** 発行部数はどのくらい増えたのですか。

**答** 昨年度は2万7200部、今年度は2万7350部です。世帯数が増えており、高齢者施設入居者への配布も増えているため、増加傾向にあります。

#### 小中学校の大規模改修

**質** 大規模改修を行った学校で台風19号による被害のあった学校はありますか。

**答** 第二中学校が老朽化による雨漏り、城南小学校は窓枠周辺のゆがみなどによる雨漏りです。

**質** 築年数の古い学校は大規模改修を早めることや、あるいは建て替えも検討すべきではないですか。

**答** 大規模改修は築年数、財源を考慮して、公共施設等総合管理計画に基づき、進めてまいります。

#### 市立図書館の指定管理

**質** 市民のニーズをとらえる市民アンケートなどの実施はどのようにしていますか。

**答** 利用者アンケートおよび行政全般の市民アンケートは行っていますが、図書館に限った市民アンケートは実施していません。今後は市民の声を反映できる仕組みも含めて検討していきます。

**質** 市民1人当たりの「図書購入費」が落ちていますが、どのように考えていますか。

**答** 図書購入費の人口1人当たり全国平均は40円ですが、多賀城市の場合、25.3円(平成29年度)、41.2冊になっていきます。利用者のニーズを把握し、今後より増額して図書を購入していきます。

あんなことこんなこと議論の足跡

# 行政視察報告

# 総務経済常任委員会

総務経済常任委員会は、令和元年11月5日から同月7日までの日程で、兵庫県神戸市、明石市、岡山市倉敷市へ視察調査を行いました。



## 総務経済常任委員会

- 委員長 江口 正夫
- 副委員長 齋藤 裕子
- 委員 米澤まき子
- 委員 佐藤 恵子
- 委員 竹谷 英昭
- 委員 伏谷 修一



## 兵庫県神戸市

### ●地域コミュニティ事業について

地域コミュニティ事業の活性化について、市民参画推進局および建築住宅局から説明を受けました。ふれあいまちづくり協議会が、地域福祉センターを拠点として活動し、市が地域ごとのデータを提供し、活性化の事例集やまちづくり講座のサイトの作成や活動補助金の申請手続きの簡素化、NPOの積極的な連携の支援など、危機感を持って、新たな活性化の施策を推進している努力を理解し、本市でも提言したいと思いました。

## 兵庫県明石市

### ●明石市農業基本計画に基づく農業振興の取り組みについて

都市型近郊農業の取り組みについて、産業振興課および農業振興課から説明を受けました。消費地の神戸市、大阪市に近いことがあり、経営所得安定対策として、米作から野菜、園芸への転作および6次産業化、地産地消の奨励を市が個人農家や農協に働きかけていました。本市の農政にとって、米作から野菜、園芸への転作は大きな課題がありますが、6次産業化、地産地消については、新たな施策を検討していくことが必要と思いました。

## 岡山県倉敷市

### ●倉敷市中心市街地活性化基本計画について

中心市街地活性化事業について、建設局から説明を受けました。中心市街地活性化協議会が中心となり、市、商工会議所、金融機関による支援を受け、協働で取り組んでいることを理解しました。市を4つのブロックに区分し、地区に相応しいコンセプトを創り、貢献できる起業家を審査し支援を行う、整然かつ特徴的なまちづくりに関心をもちました。本市も、主体的な官民協働の組織のもと、コンセプト創りによる、まちの差別化・活性化の必要性を理解しました。

# 行政視察報告

## 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、令和元年11月11日から同月13日までの日程で、佐賀県佐賀市、熊本県玉名市、福岡県太宰府市へ視察調査を行いました。



### 文教厚生常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 戸津川晴美 |
| 副委員長 | 昌浦 泰巳 |
| 委員   | 遠藤 秋雄 |
| 委員   | 佐藤 雅博 |
| 委員   | 森 長一郎 |
| 委員   | 阿部 正幸 |

文教厚生常任委員会

### 佐賀県佐賀市

#### ●佐賀市生活自立支援センターの運営について

佐賀市では、自立支援事業について、NPOスチューデント・サポート・ユニース(SSE)のメンバーから、映像を用いた丁寧な説明を受け、その後若者サポートステーション内の現地視察を行い、それぞれの若者の実情に合わせた支援の様子を拝見しました。自立支援の重要な観点として、「個人の支援だけでなく家族全員の支援を」が示されたことに深く感銘しました。

### 熊本県玉名市

#### ●玉名市地域子育て支援拠点事業について

玉名市では、地域子育て支援拠点事業について、担当者よりパワーポイントと動画を使った説明を受け、「たまっころんど」(支援拠点の一つで社会福祉協議会の受託事業として入浴施設を併設)を現地視察しました。母子ともに、和やかな雰囲気、手遊びが行われていました。市内に6カ所も拠点を置いていることが、利用者増加のカギであると強く感じ、多賀城市でも子育て支援拠点の増加を提案したいと思えます。

### 福岡県太宰府市

#### ●特別史跡の保存、管理及び活用の取組等について

太宰府市では、教育部文化財課長と保護活用係から説明を受け、政庁跡の現地視察を行いました。多くの観光客に驚くとともに、多賀城市の南門復元事業を観光にどう生かしていくかが、重要と再認識しました。また、市民が主体的にその育成に取り組む「市民遺産の提唱」という観点は、多賀城市にもぜひ取り入れたいと感じました。



# 行政視察報告

# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会は、令和元年11月12日から同月14日までの日程で、福岡県北九州市、飯塚市、大牟田市へ視察調査を行いました。



## 建設水道常任委員会

- 委員長 吉田 瑞生
- 副委員長 鈴木新津男
- 委員 中田 定行
- 委員 根本 朝栄
- 委員 雨森 修一
- 委員 板橋 恵一

## ●再開発事業について

小倉駅前東地区の再開発事業ビルは、今後不動産グループがビル全体の管理を検討しており、動向が注目されています。小倉駅南口東地区の再開発事業ビルは、当初の事業計画を見直し、業務と商業機能を縮小し、住宅機能を導入しています。2つの事業は対照的で、住宅・公益施設、駐車場を主体にした事業によって、コンパクトシティの推進に取り組まれています。今後のまちづくり、中心拠点と地域拠点立地計画策定を覚えめました。

## 福岡県北九州市



## 福岡県飯塚市

### ●中心市街地活性化事業について

市街地再開発事業ビルで、交通結節点のバスターミナルの再生、医療関連施設の移転、住宅の整備で、医・住・交が一体となった都市基盤整備と街なか居住を推進しています。商店街では歩行者空間歩道整備による回遊性や賑わいを創出し、駅に隣接した健康交流広場(健康遊具設置)と駐車場などを設置しており、生活・交流・健康を繋ぐ健康空間づくりとなっています。歩道の拡幅整備による歩行者空間づくりが重要であると思いました。

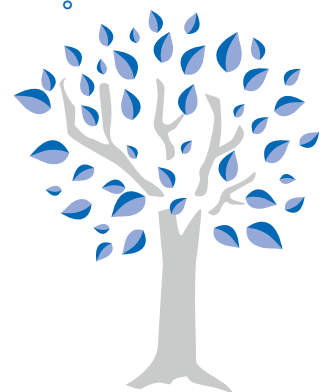
## 福岡県大牟田市

### ●上下水道一体化について

経営の健全化に向けた取り組みについては①施設の老朽化対策などに必要な更新財源となる内部留保資金の確保②中長期的な視点に立った経営③企業債残高の抑制を念頭に置いた投資④人材の育成や技術の承継などの課題に対処するために、官民連携や発展的広域化の検討を進めるとしています。水道利用料の減収傾向など、厳しい経営環境に対し、組織を効能的・機能的に運営し、新たな官民連携の推進について検討を進めることが大切であると感じました。

# 私もひとこと

議会を傍聴したみなさんからの  
感想や意見です。



議会の広さからして議員・執行部ともに声は聞き取りやすい話し方をされる諸氏が多いのでありがたい。年間議会開会日程をまとめてHPにアップしていただくと傍聴する側も日程を作りやすいと思う。

佐藤 太一さん（東松島市在住）

初めて議会を傍聴させていただきました。それぞれの委員会で審査審議された議案の報告・承認するという議会だったと思います。「委員会で全会一致で採択された」ということで起立採決でしたが、傍聴する側としては議論された内容が伝わらないものでした。どういう中身なのか、大まかな報告はできないもののですか？

高橋 紀子さん（東田中在住）

## 編集後記

新年初の議会だよりをお届けします。  
近年は自然災害が多発して各地で大きな被害を被っています。本市でも昨年10月に台風19号に襲われ、復旧・復興に要した経費は約3億7000万円。市民お一人お一人を受けた被害額をあわせると膨大な額となります。本年は、災害が無くなるように祈るばかりです。

さて、12月定例会は、市議会会議規則を改正して初めての議会でした。本会議主義から、委員会主義となり、議員も市当局も、少し戸惑いながらも活発な議論がなされました。今後は、各常任委員会、予算特別委員会などで今まで以上の深まった審議が、そして市民の皆様の期待に応えられるようにそれぞれの議員の努力が求められます。

私たち編集委員は、「議会の様子を分かりやすく、読みやすい議会だより」を念頭に編集を心がけていきます。

（鈴木 新津男）

### 広報特別委員会

委員長	齋藤 裕子
副委員長	鈴木 新津男
委員	遠藤 秋雄
委員	佐藤 雅博
委員	江口 正夫
委員	昌浦 泰巳

# 多賀城跡近くに鎮座する む つ そう しゃ の みや 陸奥総社宮の紹介



新しい年を迎える時、多くの方々が神社、仏閣を参拝します。いくらテクノロジーが発達しようとも見えない力、信仰心に心のよりどころを求めることは日本だけではなく世界中で見られることです。明日の明るい生活のため、永遠、普遍に営まれていくことなのでしょう。私は、令和2年も災害、事故が起きないようにと、家内安全を願い、そして今年は国司の思いも感じての年頭の参拝をしてみました。

以下は、陸奥総社宮 禰宜 市川壽夫様に一筆お願いいたしました。

(レポーター 佐藤 雅博)

もうすぐ創建1300年を迎える多賀城国府の近くに鎮座するのが陸奥総社宮(むつそうしゃのみや)です。

鳥居をくぐると、両側に陸奥の国(今で言うと宮城県、福島県、岩手県の一部地域)の100社の神社の名が記されていた神名額が目に入ります。これら神社は「延喜式内社(えんぎしきないしゃ)」と言い国司が自ら祭事を執り行っていました。が、神社巡拝の負担を軽くするため、国府近くに集めこれを「総社」と称しました。

ここ陸奥総社宮は、東北の政治・文化・軍事の中心的役割を果たした多賀城国府とともに国土鎮護の神として歩んできた由緒ある神社です。厄よけ、家内安全、交通安全の神社としてあつい信仰があり現在に至っています。拝殿脇には樹齢600年余りの老杉(おおすぎ)に220年余りの白木蓮が寄り添っています。昔から長寿で仲の良い夫婦にみため、家族円満幸せの神樹として「老杉に白木蓮の花化粧」と愛され、語り継がれてきました。

この4月には、白木蓮と桜が咲きそろい、修復されたおみこしもみられますのでどうぞお立ち寄りください。

(陸奥総社宮 ねぎ 禰宜 としお 市川 壽夫)